

グサービス)などの利用によって、誰でも情報発信・収集をすることができます。

●**遠くの知り合いを通じた安否確認**  
被災地では電話がつながりにくくなる恐れがあります。被災地以外の知り合いに自分の状況を伝え、家族の安否確認を行うことも有効な手段です。

この場合、災害時優先電話となる公衆電話を活用しましょう。

●**伝言メモを残す**

通信機器の電池が切れた場合の手段も確保しておきましょう。あらかじめ、家族と伝言メモを残す場所を決めておき、災害時にはその場所に、安全であることや避難先を記入したガムテープや付箋を貼ることで家族の行動を確認することができます。

外から見える場所にメモを残すと、空き巣被害につながることもあるため、家族など関係者だけが見られる屋内にしておきましょう。

家族と話した内容について、書き留めて持ち歩くための用紙を掲載します。

▼家族で決めておく連絡のルール。この用紙に記入して切り取り、いつも持ち歩きましょう。

防災ありだがわ 身を守るカード

私の連絡先など	名前	
	住所	
	電話	
	持病など	
「171」の登録先電話番号(自宅)		
集合場所・避難場所		
連絡を取り次いでくれる人	名前	
	連絡先	
家族や安否確認を取りたい人の連絡先	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
電話		
メール		

防災ありだがわ 身を守るカード

私の連絡先など	名前	
	住所	
	電話	
	持病など	
「171」の登録先電話番号(自宅)		
集合場所・避難場所		
連絡を取り次いでくれる人	名前	
	連絡先	
家族や安否確認を取りたい人の連絡先	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
電話		
メール		